

指 定 理 由 書

寺田縄日枝神社本殿 一棟 附 棟札 3枚、木札 1枚

形式及び規模	いっけんしゃながれづくり 一間社流造 屋根：柿葺、軒：二軒繁垂木、向拝打越垂木、 妻飾：虹梁 大瓶東笈形付、組物：出三斗、縁：東のみ、仕 上：朱塗、柱間寸法：桁行 1211mm (4 尺)、梁行 992mm (3.27 尺) 幅 1939mm×奥行 1874mm 棟札 (1692 年) 総高 805mm、上幅・下幅とも 250mm 棟札 (1727 年) 総高 810mm、上幅・下幅とも 170mm 棟札 (1801 年) 総高 835mm、上幅・下幅とも 200mm 木札 (1706 年) 総高 762mm、上幅・下幅とも 248mm
管理者	宗教法人日枝神社
所在地	平塚市寺田縄 1 1 8 0
種 別	有形文化財 (建築物)

日枝神社は、旧寺田縄村の鎮守である。『新編相模国風土記稿』や『相中留恩記略』では「山王社」と記されており、明治時代に入って「日枝神社」と改称した。『神奈川県神社誌』によれば、祭神は大山咋命^{おおやまくののみこと}で、神体は顔面が猿の衣冠束帯の立像であると伝えられている。例祭日は、『相模国風土記稿』に「四月中の申日祭」とあるが、現在は4月の第一日曜日に行われている。

日枝神社別当は、現在廃寺となっている東善寺（同村）で、『新編相模国風土記稿』では、山王山と号する曹洞宗の寺院で、吉祥院（同村）の末寺であるとされる。大正12年（1923年）年9月1日の関東大震災の折、吉祥院は半壊、東善寺は全壊し、これを機に合併、新しい吉祥院の堂宇が昭和4年（1929年）に東善寺跡地に建築された。

寺田縄日枝神社本殿は、平塚市内に残る建立年代の明らかな神社本殿では最も古い。小振りで簡素だが、均整の取れた美しい社殿である。全体に淡い朱が残っている。材質は向拝柱が檜である以外、主要材料はすべて母である。水引虹梁^{みずひきこうりょう}

は直材ではなく中央部が隆起して、中備なかぞなえ えようひじきに絵様肘木を置くのが珍しい。屋根は柿葺で、軒は二軒繁垂木。向拝は打越垂木である。妻飾は虹梁大瓶束で笈形がつく。斗拱ときょうは出三斗で組む。軒下には、四方に彫刻により装飾が施されており、前面に猿、側面に松と梅、背面に輪宝を表す。

附属する棟札に「奉造立山王権現社頭壹字所」「別当東善寺」「導師吉祥院」「元禄五壬申曆（1692年）五月拾六日」「相州大住之郷寺田縄村」「馬渡村大工森伊兵衛」を記す。修復を示す棟札は2枚残り、「享保十二丁未（1727年）四月吉辰」、「享和元辛酉年（1801年）四月吉辰」の年号が記されている。棟札とは別に木札が残る。升目を引いた中に、山王種子曼荼羅が配され、「寶永丙戌曆（1706年）十一月吉揮日」の年号が記されている。東善寺三世（吉祥院十五世、靈廓良苗大和尚）の筆によるとみられる。（「」内の年号のうち、（）内の西暦年は追記）

以上のように、当該建築物は平塚市内で建立年代が明らかな最も古い神社本殿であり、市内の神社建築の状況を伝える歴史資料として貴重である。

参考文献

神奈川県神社本庁編『神奈川県神社誌』（1981）

清水 擴「平塚の近世社寺建築」（『平塚市文化財調査報告書』第27集、1992）

平塚市博物館市史編さん担当編「（四）山王社（日枝神社）」（『平塚市史 13 上 別編 神社（1）』平塚市、2018）



写真1 寺田縄日枝神社本殿

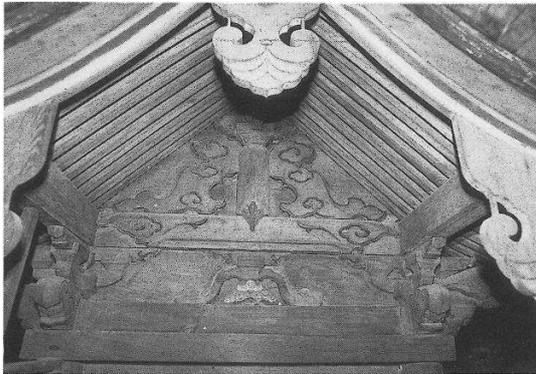


写真2 妻飾

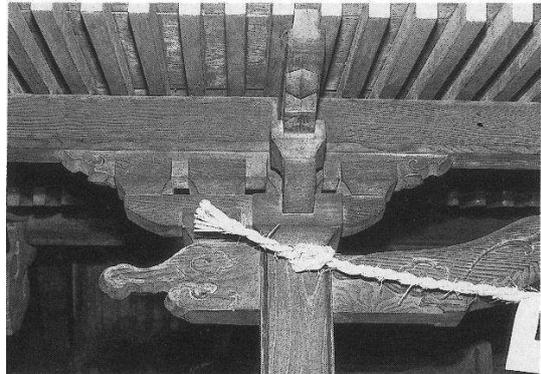


写真3 向拝柱上部



写真4 向拝海老虹梁



写真5 軒下装飾 (前面、猿)



写真6 軒下装飾 (背面、輪宝)



写真7 軒下装飾 (右側面、松)

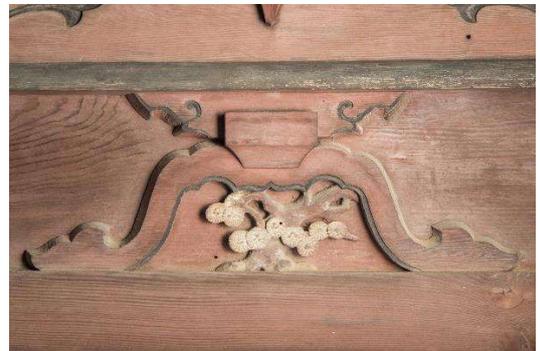


写真8 軒下装飾 (左側面、梅)

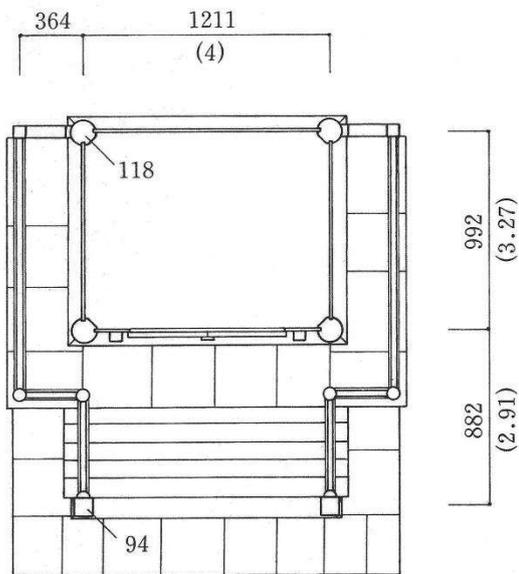


図1 実測図

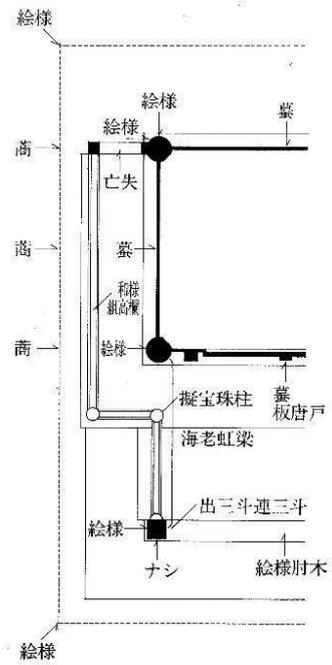


図2 各部名称とその状況

1 元禄五年五月 寺田繩村山王大権現社造立棟札

(表)

諸佛救世者 住於大神道 為悅衆生故 現無量神力矣 別當東善寺
奉造立山王大権現社頭壹宇所 導師吉祥院
右 意趣者 天長地久御願圓滿郷内安穩諸人快樂白郷中諸檀那

(裏)

相州大住郡 寺田繩村
元禄五_{壬申}曆五月拾六日
馬渡村
大工森伊兵衛

(寺田繩 日枝神社蔵)

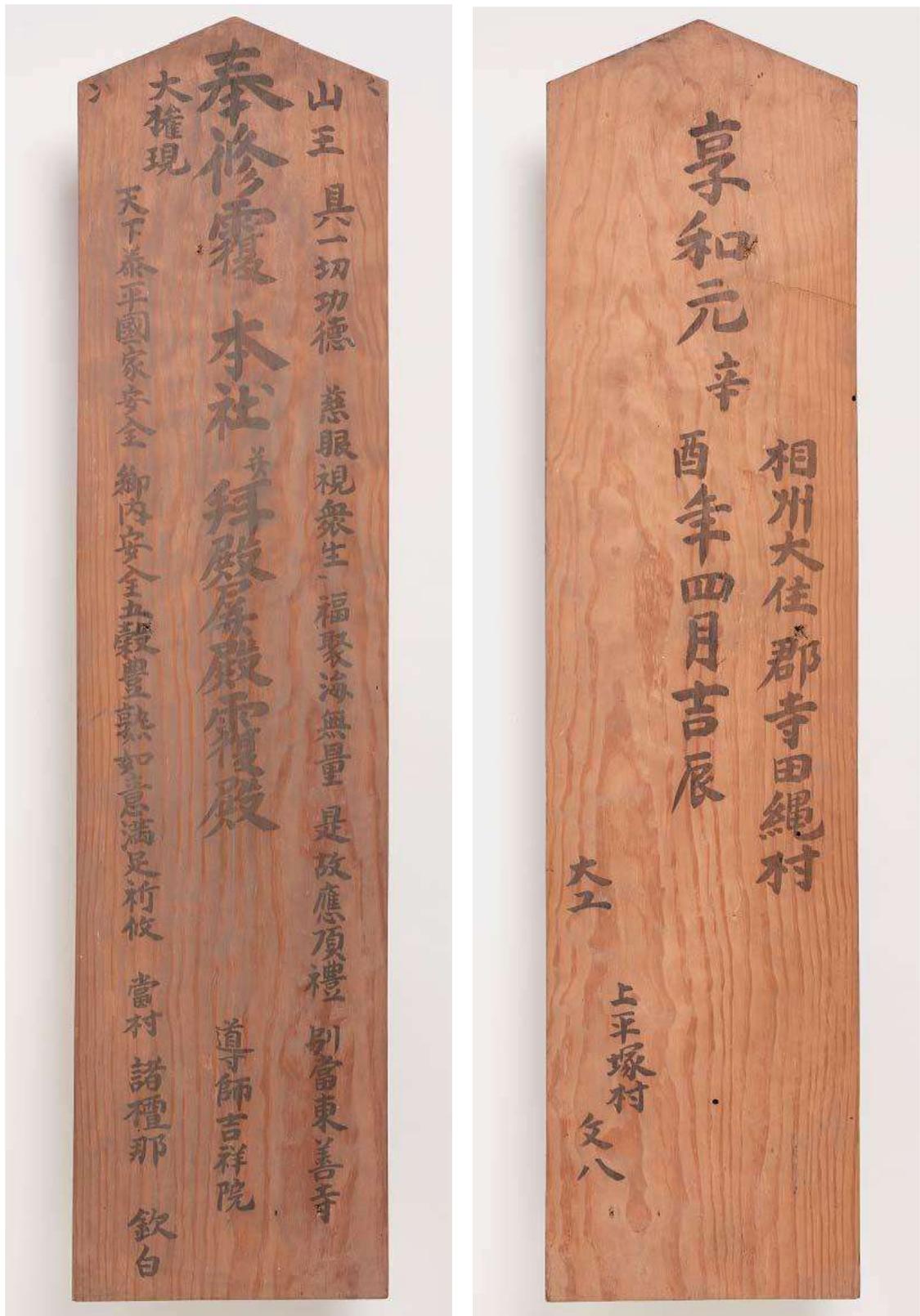
図3 造立棟札



写真9 造立棟札（左：表、右：裏）



写真10 享保修復棟札（左：表、右：裏）



山王 具一切功德 慈眼視衆生 福聚海無量 是故應頂禮 別當東善寺
 奉修覆本社 拜殿展殿覆殿 導師吉祥院

大権現 天下養平國家安全 郷内安全五穀豐熟如意滿足祈攸 當村 諸檀那 欽白

享和元 辛酉 年四月吉辰 相州大住郡寺田繩村

大工 上平塚村 文八

写真11 享和修復棟札 (左：表、右：裏)



山王七社権現
之御子

胎大口 二宮電殿	下八王子 虚空識	釋迦 大宮	時寶永 丙戌 曆十一月古揮日
摩利支天 下七社 山末	文殊 中七社 王子宮	藥師 二宮	
龍樹菩薩 小十禪龍	不動 早尾	阿彌陀 聖真子	
聖觀音 氣比	毘沙門 大行事	千手 八王子	
弁才天 岩瀧	如意輪 聖女	十一面 客人	
愛染王 惡王子	吉祥天 (新行子)	地藏 十禪師	
金大日 大宮電殿	大威德 牛御子	普賢 三宮	

第七	第六	第五	第四	第三	第二	第一	七社
天照皇大神三世也	天孫皇大神十禪師也	伊弉册尊客人白山也	國狹槌尊八王子也	勝哉吞勝忍穗尊真聖子也	國常立尊二宮也	大日貴尊大宮也	天台類聚有之

相劬大住郡寺田繩村
東善寺現住

写真12 宝永木札 (左:表 (裏は記載なし)、右:积文)